

## 松田充(まつだみつる)

### ■研究分野

教育方法学、ドイツ教授学

### ■研究キーワード

授業づくり、授業研究、学習集団論、批判理論、他者の承認、ドイツの教育

### ■具体的な研究テーマ

- ・ドイツにおける授業研究(Unterrichtsforschung)の理論と実践
- ・子どもの主体形成や承認に向かう授業(づくり)と集団(づくり)のありよう
- ・戦後教育実践の中で積み重ねられてきた日本の授業研究(Lesson Study)の国際化  
詳しい研究業績については、松田の research map を参照

< <https://researchmap.jp/information> >

### ■ゼミの方針

ゼミのやり方は、所属した院生との相談で決めていきたいと考えています。個人的には、一つのことだけに取り組むのではなく、院生の発表、文献読解、実践検討などいろいろなことに取り組めるゼミにしたいと思います。

### ■メッセージ

私が専攻している教育方法学は、授業をよりよくしていくために、教育学、教科教育、心理学、社会学など様々な視点から研究を行います。「あなたがやりたい授業」とはどのようなもので、それをいかに具体化していくのかという教師としての「主体性」を発揮し、それを高めていくことを大切にしたいと思っています。

### ■最近読んで面白かった本やおすすめの本

- ・牧野篤(2023)『発達する自己の虚構:教育を可能とする概念をとらえ返す』東京大学出版会。
- ・山口裕之(2022)『「みんな違ってみんないい」のか? :相対主義と普遍主義の問題』筑摩書房。
- ・桜井智恵子(2021)『教育は社会をどう変えたのか:個人化をもたらすリベラリズムの暴力』明石書店。